

社会教育委員の会議 会議概要

- 1 審議会名 令和元年度第2回安曇野市社会教育委員の会議
- 2 日 時 令和元年11月22日(金) 午前10時から
- 3 会 場 安曇野市役所 本庁舎共用会議室306
- 4 出席者 高橋みち子委員、細田利章委員(議長)、荻原義重委員、腰原正己委員、千國寛一委員、山崎敦子委員(副議長)、宮澤純子委員、丸山明男委員、浅見郁子委員、幅修一委員
- 5 市側出席者 橋渡教育長、生涯学習課臼井課長、文化課那須野課長、社会教育担当臼井係長、社会教育担当山口課長補佐、スポーツ推進担当布山係長、社会教育担当小穴係長、穂高地域課丸山課長補佐、三郷地域課小松係長、堀金地域課大蔵係長、明科地域課請地係長、文化振興担当三澤係長、文化振興担当赤沼係長、文化財保護係山下課長補佐、博物館係財津係長、図書館係奈良澤係長、社会教育担当中村主任、社会教育担当青沼主事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和元年12月6日

協 議 事 項 等

会議概要

- 1 開 会 生涯学習課臼井課長
- 2 あいさつ 橋渡教育長
- 3 協議事項
(1) 令和2年度事業計画(案)について
- 4 その他
(1) 東京2020オリンピック聖火リレー概要説明(安曇野市版)
- 5 閉 会 生涯学習課臼井課長

協議事項

- (1) 令和2年度事業計画(案)について
《生涯学習課各係長から説明》
《地域課各係長から説明》
《文化課各係長より説明》

【委員】

「安曇野市ちく生きものみらい基金充当事業」について、バス代の補助のみならず、蜘蛛博物館のようなものを建てれば、千國さんの功績を遺すこともでき、子どもたちの蜘蛛や自然への学習や、観光面に役立てることができる。

【事務局】

現行のバス事業では、子どもたちを外へ連れ出し自然に触れさせることに繋がっている。今後建てる新しい博物館では、安曇野市の先人たちの業績を集約し、そこに行けば色々な先人たちのことがみられるようなコンセプトにしたいと考えている。

【委員】

- ・松本市は成人式を当面20歳で行うが、安曇野市の方向性を教えていただきたい。
- ・今年度の「人権平和・特別授業～kizuki～」は、中学生が事例発表を行ったが、小学生の人権学習がどのように行われているのかわかる取り組みが必要なのではないか。
- ・また、現行の成人年齢が18歳に変わった場合、対象者は9歳になる小学3年生となるのか教えてほしい。

【事務局】

- ・現在、法が施行される令和4年に18歳として成人する現在の中学生とその保護者を対象としたアンケート調査を行っており、結果を判断材料の一つとして今後検討していきたい。
- ・当初は小学生が発表をしていたが、学校側の負担を減らすために中学生に発表いただいた。小学生に

とっても、心になる発表になったと思っている。

【委員】

- ・今年度のように市民運動会が中止となった場合、「地域市民運動会交付金」はどのような扱いになるのか。
- ・2027年度の長野国体についての事業が計画（案）にないのはなぜか？

【事務局】

- ・既に購入してしまった参加賞などの景品代は返金できないので、次回の運動会に回すなどの有効活用をしていただき、それ以外の使っていないお金は、返還をお願いします。
- ・来年度については、内定をもらっている競技の視察（ウェイトリフティング、少年女子バレーボール）についてのスケジュールが示されていないため、計画（案）には載せていない。
- ・国体は現在費用がかかるものはないが、開催6年前には国や県が会場視察を行う。そこで修繕を指摘できればその分の経費が必要となる。

【委員】

- ・「学校等連携事業」について、現在の具体的な内容を教えてほしい。また、小・中学校、こども園の子供たちが図書館を十分活用できるようにぜひ進めていただきたい。
- ・文化財保護事業について、市としてどのように文化財を守っていく方針なのか具体的に教えてほしい

【事務局】

- ・別予算で小・中学生を中心とした指導学習に必要な図書の整備を行っており、学校司書を通して必要な本を揃えている。また、図書館司書が実際に学校へ出向いて小学生向けの百科事典の使い方を紹介している。
- ・消防署と相談しながら、建造物の整備を行っている。面積が小さい建物は消火器設置に係る費用の3分の1を、面積が大きい建物は自動火災報知機の設置補助について10万円を上限として費用の3分の1の予算化を検討している。自動火災報知機については、山間地など過疎化が進んでいる地域は近くに駆け付けてくれる人がいないため、消防署とも相談し、今後どうしていくかが課題となっている。